

おすすめ講座・講演会



おとこのライフセミナー

北九州イクボス同盟 共催

かさい しんすけ

笠井 信輔さん講演会

フリーアンウンサー 元フジテレビ『とくダネ!』メインアシスタント

生きる力

—ワーク・ライフ・バランスと働き方改革—

11月6日(土)13:30~15:00

- 会場 ムーブ 2階 ホール
- 定員 250名 入場無料 ※申込多数の場合は抽選
- 申込方法 ムーブホームページ、電話、FAX、ハガキにて受付
- 申込締切 10月5日(火)必着
- 託児 有(6ヶ月~就学前のお子さん) 1人500円(要予約)

お申込み・お問合わせ 事業課 TEL: 093-288-6262 FAX: 093-583-5107



Profile

早稲田大学卒業後、1987年フジテレビ入社。アナウンサーとしてキャリアを積み、「情報プレゼンターとくダネ!」では司会の小倉智昭氏のアシスタントを務めた。趣味の映画鑑賞は新作映画を年間130本以上スクリーンで観るほどで、自他ともに認める「シネフィル(映画狂)」である。舞台鑑賞は特にミュージカル、とりわけ宝塚歌劇団好き。大規模災害時には被災地の取材だけでなく、積極的にボランティア活動にも取り組んできた。祖父に劇作家・脚本家の阿木翁助。妻はテレビ東京社員の茅原ますみ。

令和3年度 男女共同参画啓発講座

ムーブ映画祭

～人生の主人公は自分自身!～

ひぐち ともみ 映画上映 & 横口 智巳さん(小倉昭和館 館主)とムーブ コーディネーターによるトーク会

上映作品 『サニー 永遠の仲間たち』

2011年に韓国で公開されると同時に世代を超えた共感を呼び、740万人動員という大ヒットを記録。1980年代のソウルを舞台に、7人の女性が失ってしまった大切な何かを取り戻していく美しい友情の物語。

12月4日(土)13:00~15:40

- 会場 ムーブ 2階 ホール
- 定員 250名 入場無料 ※申込多数の場合は抽選
- 申込方法 電話、ハガキ、ムーブホームページにて受付
- 申込締切 11月16日(火)必着
- 託児 有(6ヶ月~就学前のお子さん) 1人500円(要予約)

お申込み・お問合わせ 事業課 TEL: 093-288-6262



Sunny サニー 永遠の仲間たち

©2011 CJ E&M Corporation, All Right Reserved

介護男子 いざとなったらどうする?

～突然やってくる前に、男性同士で介護と一緒に考える講座～

- 日時 10月30日(土)、11月7日(日)、11月20日(土)【全3回】
10:00~13:00
- 定員 15名(応募者多数の場合は抽選)
- 対象 介護に関心のある男性
- 申込方法 電話、FAX、ムーブホームページにて受付
- 申込締切 10月9日(土)

お申込み・お問合わせ

事業課 TEL: 093-288-6262 FAX: 093-583-5107

介護のことを事前に学び、仲間も作りませんか?



超高齢社会を迎え、今、妻や親など家族の介護を担う男性が増えています。介護と同時に家事も行わなければならないため、不慣れなことも多く、肉体的・精神的な負担は少なくありません。介護でのストレスを少しでも減らせるように、この講座で介護の基本を学び、仲間を作りませんか?

10月30日(土) 社会資源・家族の連携
11月7日(日) 環境づくり・福祉用具の上手な活用
11月20日(土) 認知症サポーター研修

新連載

今号から、北九州地域のさまざまな分野でご活躍中の皆さまをエッセイでご紹介するコーナーを設けました。お楽しみに。

リレーエッセイ ムーブ×私

恩返しのカウントダウン

50歳からカウントダウンの人生が始まった。「定年まであと10年で何をするか」である。それから7年。「会社を少しでも良い状態で引き継げるよう自分ができる限りのことをする」「社内外の人脈を後輩に引き継ぐ」「経験を後輩に伝える」に力を注いできた。最近はわが社だけでなく他社の後輩の面倒まで見始め、お節介おばちゃん道まっしぐらである。これには私の社会人としての生い立ちが関係していると思う。

私は男女雇用機会均等法の2期生として1988年、西日本新聞社に入社した。新入社員29人中、女性は私1人。「お前の働き次第で来年も女性記者を採用するかどうかが決まる」とプレッシャーをかけられながらも仕事は楽しく、警察担当、経済記者、韓国・釜山駐在記者などを経験。

それが管理職になる40代から男性記者たちと違う路線に乗せられた。新規プロジェクトが立ち上がるたびに取り込まれ、部長昇格は「営業部長」だった。「なぜ男性の同期と同じ



西日本新聞社 執行役員
北九州本社代表兼営業部長
かつぎ まさこ
甲木 正子さん

Profile
北九州市生まれ。福岡教育大卒。1988年、西日本新聞社入社。経済部記者、グループ経営委員会委員などを経て2021年6月より現職。

ように育てられないのか」と悩んでいた私に助言し、励ましてくれたのは他業種の女性の先輩達だった。「編集局しか知らない人より、他局の仕事を経験して広い視野で会社を見られる甲木さんの方が何倍も得してる」との助言を支えに、新しい仕事を覚え、営業に人脈を作った。そのおかげで今の私があると思っている。

女性の先輩達は均等法以前に社会人になられ、育児休業法も無い中で出産された世代だ。その方たちに育てていたい恩返しと思って「お節介おばちゃん」をしている。性別に関係なく、求められればどんな人にも世話を焼く。受けた恩より多くのものを与えなければならない年齢になった。これが次世代への責任というものなのだろう。

最後に。男社会の新聞業界で自分のキャリアに悩んだ時、多様な講座で私に学びや仲間を与えてくれたムーブにも恩返せねばと思っている。感謝!

令和3年度 男女共同参画啓発 講演会

統計データから見る 北九州市の男女共同参画

～『北九州市の男女共同参画
統計データ集 2020』をもとに～

令和3年3月にムーブが発行した『北九州市の男女共同参画統計データ集 2020』をもとに男女共同参画の視点から北九州市におけるジェンダーの取り組みについてお話ししていただきます。どなたでもお気軽にお申し込みください。

【講師】お茶の水女子大学 基幹研究院 教授 さいとう えつこ
斎藤 悅子さん

12月1日(水)14:00~15:00

- オンライン配信(Zoom)
- 定員 80名(申込多数の場合は抽選)
- 申込方法 ムーブホームページにて受付
- 申込締切 11月20日(土)

お申込み・お問合わせ

情報課 TEL: 093-583-5082

参加
無料



(公財)アジア女性交流・研究フォーラムからの お知らせ

第32回アジア女性会議—北九州

ICTと女性～平等な社会に向けて～

私たちの生活に必要不可欠となったICT(情報通信技術)。進展しているデジタル化社会において、ジェンダー平等と女性・少女のエンパワーメントをいかに推進していくか、現在の課題も含め議論していきます。

11月5日(金)13:30~15:30

オンライン配信(Zoom)

(視聴会場)ムーブ 5階 大セミナールーム



独立行政法人
国立女性教育会館 理事長
うつみ ふさこ
内海 房子さん



明治大学 公共政策学院
ガバナンス研究科 教授
ゆあさ はるみち
湯浅 墾道さん

お申込み・お問合わせ

(公財)アジア女性交流・研究フォーラム 企画広報課
TEL: 093-583-3434 Email: info@kfaw.or.jp
<http://www.kfaw.or.jp/kcaw2021.html>



▲申込フォーム

脱セクシュアル・ハラスメント宣言 法制度と社会環境を変えるために

セクシュアル・ハラスメントの関係書籍は巷にあふれている。

それだけ議論の余地があり、社会の関心が高い分野であるにもかかわらず、この問題を根絶することの難しさを、私自身仕事を通じて感じている。

本書は、第1章が現状、第2章が対策、第3章が資料という構成になっており、編著者が弁護士であることもあってか脱セクシュアル・ハラスメント社会への提言にまで踏み込んでいるが、特筆すべきは、本書が各分野でこの問題を扱い、関心を寄せている人たちのそれぞれの「声」で構成されているということである。

若い世代からの告発として「私たちは悪くない」という文章も興味深いが、職場のハラスメント研究所代表の金子雅臣氏の「男たちの意識をどう変えるか」と題する文章が印象に残る。

金子氏は、ジェンダーギャップ指数が100位以下である日本においてなぜハラスメントに対する理解が進まないのかを分析する。そして、この問題を解決するためには男たちの意識をどう変えるかが急務としながらも、「場合によっては、女性以上にセクハラに不快感を感じ、セクハラ男に怒りを感じている男性たちもいる。」と、男性が十把一絡げにされる風潮を嘆き、セクハラを「する男」と「しない男」が厳然と存在することを指摘するのである。金子氏の「L館事件」の地裁、高裁、最高裁のそれぞれの判断に対する分析は、一見平易な文章ながら読み手にセクシュアル・ハラスメントの問題点を正確かつ端的に伝えるものである。ぜひ熟読してほしい。

原田・川原法律事務所 弁護士 原田 美紀さん

多様な社会はなぜ難しいか 日本の「ダイバーシティ進化論」

東京五輪のキャッチフレーズは、「多様性と調和」だった。だがこの大会は、女性蔑視発言、障がい者へのイジメ、ユダヤ人差別への無理解など、多様性とは真逆の少数派排除が相次いで噴出した。著者の新聞連載コラムを加筆・編集した本書は、このような、「多様化を呼びつつ多様性を排除する」という私たちの社会の奇妙さを鋭く突く。

その原因の一つとして著者が挙げるのが、「多くの人たちのより良い協業を可能とする土台」としてではなく「強い組織づくり」としての多様化が突出してきた現状だ。

ダイバーシティ・マネジメントは、①組織の中での差別と人種の対立の解消、②企業の国際化の中での異文化経営、③競争力の再構築の実は3つの分野にルーツを持つ。日本ではうち、①はなおざりにされ、②と③が明確に区別されないまま進められがちだと著者は指摘する。

このように、日本社会では、差別の解消より企業経営や競争力を優先する「多様化」が進められ、かつ、男性一色の構成による効率経営を重んじる姿勢が続く。こうした社会では、「多様化」は女性などの少数派に対する、「競争のための適応の強制」に容易に転化する。

こうした主題に沿って本書では、「女性活躍」「日本死ねブログ」「父親の育休取得の困難」など、「効率化」の名の下に多様な男女を鋳型にはめ込む行為の数々が、変奏曲のように論じられていく。

社会的公正を原点に据えた少数派による少数派のための眞の多様化へ——。そんな私たちの課題を改めて確認させてくれる好著だ。

ジャーナリスト 竹信 三恵子さん



- 角田 由紀子、伊藤 和子 編著
- 井上 久美枝、北仲 千里、山本 和奈、小川 たまか、浅倉 むつ子、申 恵丰、金子 雅臣、神谷 悠一 著
- かもがわ出版
- 2021年初版
- 2,500円(税別)

ジ エンダーギャップ指数

ジェンダーギャップ指数(Gender Gap Index: GGI)とは、非営利財団の世界経済フォーラムが公表しているGlobal Gender Gap Reportにおける世界の各国の男女間の不均衡を示す指標。

スコアはランキングの形で示される。Global Gender Gap Report 2021では、156カ国中、日本は過去2番目に低い120位とされている。



- 水無田 気流 著
- 日経BP
- 日本経済新聞出版部
- 2021年初版
- 1,500円(税別)

ダ イバーシティ

「多様性」を意味する英語。1950～1960年代に米国で盛り上がった人種差別解消を求める「公民権運動」や、性差別に異議を申し立てる「ウーマンリブ運動」などを土台に、多様な人々が共に力を合わせて働く企業マネジメントとして広がった。日本では、多様な働き手を活用して利益を上げる企業主導の試みとして展開することが多く、反差別・人権・平等という原点に立って、働き手が個性を生かして働く条件整備への取り組みが課題とされている。

フェミニストってわけじゃないけど、どこか感じる違和感について

—言葉にならないモヤモヤを1つ1つ「全部」整理してみた

著者はあきらめない。たとえ雰囲気が悪くなってしまっても、夫との生活でフェミニズムのセンターが反応したらその言動を指摘する。お互いに満足のいく人生を生きるために。著者は、性別による決めつけを変える考え方方がフェミニズムであり、それによって男女が健全な形で一緒にいられるようになると信じている。しかし、韓国では一部の男性を中心に、フェミニストは義務を果たさずに特権を濫用しようとする女性と誤解されている。だから、「フェミニストってわけじゃないけど」と著書は前置きをする。そして、言いたいことを言う。

著者は夫婦の価値観の違いを個人的なこととして捉えず、韓国の根強い家父長制という社会構造に目を向ける。韓国では、男性には依然として経済力が求められる一方、女性の人権意識は向上してきた。そのため、20代、30代の男性は、既得権益を失いつつあるという危機感で、ミソジニー(女性嫌悪)が強くなっているそうだ。だからこそ、この社会で男として育てられて身につけた夫のジェンダー観を理解するために話し合う。相手の意識下のバイアスを言語化する対話で葛藤は生じるが、理解に努力が必要だ。愛し合っているのだから。

ミソジニーは著者自身の中にもあり、女性だからと強いられる犠牲への違和感をかつては抑え込んでいたという。女性役割への義務感と自分らしい生き方との間で考え尽くした経験があるから、対話をあきらめないのであろう。著者は30代前半と若い。が、見習いたい。

西南女学院大学 人文学部 英語学科 教授 倉富 史枝さん



- パク・ウンジ 著
- 吉原 育子 訳
- ダイヤモンド社
- 2021年初版
- 1,500円(税別)

ミ ソジニー

「ミソジニー」は、英語で女性嫌悪・女性蔑視を意味する。家父長制の下、女性を男性に支配され奉仕するものとみなし、抵抗する女性を憎悪するものだ。ソウルの江南駅で30代の男性が面識のない女性を「女性が自分を無視したから」という理由で殺害した事件は「江南ミソジニー殺人事件」(2016年5月)と名付けられ注目を集めた。なお、家父長制は男性を優位に位置づける制度であり性別役割分業化に伴い近代化社会に定着した。

こどもジェンダー

武蔵大学 社会学部 教授 中西 祐子さん

本書は子ども向けのジェンダー入門書として制作された絵本である。著者は助産師・性教育YouTuberのシオリース(大貫詩織)氏。子どもの目線に立った36の質問と考え方のヒントから構成されている。親しみやすいイラストに、ひらがなとカタカナだけを使った説明文がついており、小さな子どもにも分かりやすい。子ども向け絵本の体裁をとっているが、その内容からは大人が学べることも多い。

現代社会の強固な男／女の境界線に、息苦しさを感じる人は案外少なくない。本書は、赤いランドセルが欲しいオトコノコにも、フリルの服は着たくないオンナノコにも「あなたがそう思うならそれで良い」と優しく声をかけてくれる。夫婦間や親戚内において男女が異なる役割を担わされていることや、高卒後の進路選択や政治家のジェンダー・アンバランスについての素朴な疑問も取り上げられている。読み進めしていくと、同性を好きになることや、自分の性別にしつくりがないことも不思議なことではないと教えてくれる。

単なるジェンダー入門書を超えた実践的な本である。子ども同士の「あそび」や「からかい」と捉えられるがちなスカート



- シオリース(大貫 詩織) 著
- 松岡 宗嗣 監修
- 村田 エリー 絵
- ワニブックス
- 2021年初版
- 1,400円(税別)

めぐりやズボンおろしなどの行為も、それらが立派な性暴力であることを指摘し「なぜいけないのか」を真正面から説く。子どもたちが助けや理解を求める先として、親や学校教師だけでなく第3、第4の選択肢が示されていることも興味深い。家庭が安心できる場所ではない子どももいるなかで、多様なネットワークの存在は重要である。

子どもたちに「あなたのからだやじんせいはあなただけのもの」と伝えるために作られた本だというが、大人にもぜひ一読をお勧めしたい一冊である。



内閣府

女性に対する暴力をなくす運動

11月12日(金)～25日(木)

女性への暴力ゼロ運動 特別講座 サバイバーが語る性暴力 ～あなたはひとりじゃない～

サバイバーである工藤千恵さんから、わかりにくい性暴力被害について学び、被害者を傷つけないために、周りの支援のあり方を考えてみます。

11月13日(土)14:00～16:00

- 会場 ムーブ 5階 大セミナールーム
- 定員 50名(先着順) ■参加費 無料
- 対象 福祉・医療・学校・警察等の支援者、関心のある方ならどなたでも
- 託児 有(6ヶ月～就学前のお子さん) 1人500円(要予約)
- 申込方法 電話、FAX、ムーブホームページにて受付

10/5(火)から受付



【講師】工藤 千恵さん

お申込み・お問い合わせ 相談室 TEL/FAX: 093-583-5197



女性の権利ホットライン(女性への暴力ゼロ!ホットライン)

11月17日(水) 10:00～16:00

弁護士が、女性への暴力に関する相談を電話でお受けします。当日、右記番号へお電話ください。



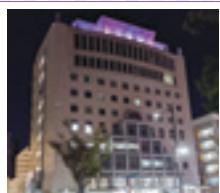
093-280-5325
093-591-9408



パープル・ライトアップ 11月12日(金)～25日(木)17:30～21:30(※ムーブの点灯時間)

女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンにちなみ、北九州市立男女共同参画センター・ムーブ、および小倉駅と黒崎駅周辺を紫色にライトアップします。

パープル・ライトアップには、女性に対するあらゆる暴力の根絶を広く呼びかけるとともに、被害者に対して、「ひとりで悩まず、まずは相談をしてください。」というメッセージが込められています。



北九州市総務局男女共同参画推進課からのお知らせ

女性のための寄り添いホットライン [コロナ禍における女性のための緊急電話相談窓口]

女性の相談員が、あなたのお話を伺います。ひとりで抱え込まず、まずはお気軽にご相談ください。

電話相談

093-581-7750

火曜日・土曜日 9:30～17:00

水曜日 12:30～20:00
(祝日除く)

対象

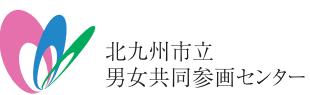
コロナ禍において不安や悩みを抱える方

相談内容

- ・孤立・孤独で不安を抱えているが相談する相手がない
- ・DVや性暴力の被害にあった
- ・経済的に苦しい状況で不安である
- ・子育てや介護の負担が大きくなり悩みを抱えている 等

生理用品
の配布

お困りの方を対象に生理用品を無償で配布していますので、お気軽にお声かけください。
ムーブ3階窓口でも配布しています。



ムーブ

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号
TEL: 093-583-3939 FAX: 093-583-5107
E-mail: move@move-kitakyu.jp
HP: <https://www.kitakyu-move.jp/>

公益社団法人
アジア女性交流・研究フォーラム
KITAKYUSHU FORUM ON ASIAN WOMEN

北九州市立男女共同参画センター・ムーブの指定管理者



ムーブHP▲

ア
ク
セ
ス

●JR西小倉駅から徒歩15分

●西鉄バス「ソレイユホール・ムーブ前」下車

【小倉駅バスセンターから】 27 36 45 110 138

【小倉駅入口から】 150 170 175 197

【天神バスセンターから】西鉄高速バス いとうづ号

●北九州都市高速 勝山ランプ・大手町ランプ出口から約3分

地下駐車場 100台収容(車高制限は2.1m)

30分ごとに100円 8:15～22:15(入庫は22:00まで)



Facebookページでイベント情報をはじめ、いろいろな情報を発信しています。